

農村環境改善センターLED化改修工事 特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 上田市芳田

2. 建物概要

[illegible]

3. 工事種目
(○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	項 目	建 物 別 及 び 屋 外			
		改善センター	〇	×	×
電 灯 設 備		〇	×	×	×
動 力 設 備		×	×	×	×
電 熱 設 備	幹線、分枝	×	×	×	×
雷 保 護 設 備	幹線、分枝	×	×	×	×
受 変 電 設 備		×	×	×	×
電 力 貯 蔵 設 備		×	×	×	×
静 止 形 電 源 設 備	直流電源装置	×	×	×	×
充 電 設 備		×	×	×	×
構内情報通信網設備	LAN用配管	×	×	×	×
構 内 交 換 設 備	電話設備	×	×	×	×
情 報 表 示 設 備	時計設備	×	×	×	×
映 像 ・ 音 響 設 備		×	×	×	×
拡 声 設 備		×	×	×	×
誘 導 支 援 設 備	インターホン・トイレ呼出し設備	×	×	×	×
テレビ共同受信設備		×	×	×	×
監 視 カ メ ラ 設 備		×	×	×	×
駐 車 場 管 制 設 備		×	×	×	×
防犯・入退室管理設備	予備配管	×	×	×	×
自動火災報知設備		×	×	×	×
自動閉鎖設備		×	×	×	×
非常警報設備	非常放送装置	×	×	×	×
ガス漏れ警報設備		×	×	×	×
中央監視制御設備		×	×	×	×
構 内 配 電 線 路		×	×	×	×
構 内 通 信 線 路		×	×	×	×
昇 降 機 設 備		×	×	×	×

4. 図面目録 ・ 別紙参照 ○ 下記の通り

番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称
E-01	電気設備工事 特記仕様書	11	
E-02	工事概要 家内図 配線図	12	
E-03	1階 電灯設備平面図	13	
E-04	2階 地盤 平面図	14	
E-05	既存 照明器具図	15	
E-06	新規 照明器具図 1	16	
E-07	新規 照明器具図 2	17	
		18	
		19	
		20	

Ⅱ 工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び仕様仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁官庁官庁の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新年度版)」(以下、「標準仕様書」という。)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新年度版)」(以下、「改修標準仕様書」という。及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(最新年度版)」(以下、「標準図」という。)による。

- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記仕様
特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目		特 記 事 項																					
①	機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。																					
②	機材の品質・性能証明	下表に示す材料・機材等(○印のもの)の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督員の承認を受ける。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">材 料 ・ 機 材 名</th> <th colspan="2">材 料 ・ 機 材 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>LED照明器具</td> <td>・</td> <td>電気錠</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>○</td> <td>その他、監督員の指示によるもの</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		材 料 ・ 機 材 名		材 料 ・ 機 材 名		○	LED照明器具	・	電気錠	・		・		・		○	その他、監督員の指示によるもの	○	(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材		
材 料 ・ 機 材 名		材 料 ・ 機 材 名																					
○	LED照明器具	・	電気錠																				
・		・																					
・		○	その他、監督員の指示によるもの																				
○	(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材																						
		1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。 5) 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。																					

項 目		特 記 事 項	
①	化学物質を発散する 建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5) 上記(1)～(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた書架、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものも、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものもい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。	
		ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料
規 制 対 象 外			① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の4第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤不使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
第 三 種			① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③ IEJISのEO規格品 ④ IEJISのFOO規格品
①	施工条件明示項目	※ 現場説明書による	
②	電気保安技術者	工事現場の電気工作物(電路、自動昇、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務を行うものとする。	
③	電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。	
④	実施工程表及び 施工計画書	(1) 実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2) 工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。	
⑤	使用材料発注先照会書 発生材の処理	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した照会書を作成し提出する。 (1) 引渡しを要するもの ○ 無 () (2) 引渡しを要するもの以外 ○ 構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3) 特別管理産業廃棄物 ○ 無 (4) 再利用又は再資源化を図るもの ・ 無 ○ () 廃蛍光管 ・ コンクリート ・ 木材 ・ アスファルト ・ 金属くず ・ ダンボール類	
10.	監督員事務所	※ 設けない ・ 設ける(「規模」) ・ 備品、()	
⑪	工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。	
⑫	足場・さん橋機	構内に作ることが ○ できる ・ できない ・ 別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ○ 本工事で設置する。 ○ 内部仮設足場等(・ 架台足場 ・ 移動式足場 ○ 移動式室内足場) ・ 外部足場 (・ A種[施工箇所面に枠組足場を設ける] ・ B種[施工箇所面に単管本足場を設ける] ・ C種[仮設コンドラを使用する] ・ D種[移動式足場を使用する])	
⑬	工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係団体からの諸手續等に要する費用は、請負者の負担とする。	
14.	工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。	
15.	完成図等	※ 完成図(※ 設計図書で示したものを全て ・ 補仕表1.7.1による ・ 監督員の指示による) 作成方法 ※ 製本 (※ 開閉式A3縮小版 2～3部(黒表紙金字製本) ・ 開閉式A1版 1部(ビニール製本)) ※ CADデータ (※ CD-R 1部) ()	
⑬	しゅん工時提出物	※ 保全に関する資料(1部) ・	
17.	再使用機器	※ 監督員の指示による 取だし再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付けける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。	
18.	耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量[kg]に、設計用標準水平地震度を乗じ1.0とする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。	
設計用標準水平地震度			
設置場所		機器種別	特定の施設 重要機器 一般機器 一般の施設 重要機器 一般機器
上層階、屋上及び塔屋		機器	2.0 1.5 1.5 1.0
		防振支持の機器	2.0 2.0 2.0 1.5
		水槽類(※1)	2.0 1.5 1.5 1.0
		機器	1.5 1.0 1.0 0.6
中 間 階		防振支持の機器	1.5 1.5 1.5 1.0
		水槽類(※1)	1.5 1.0 1.0 0.6
		機器	1.0 0.6 0.6 0.4
		防振支持の機器	1.0 1.0 1.0 0.6
地下・1階		水槽類(※1)	1.5 1.0 1.0 0.6
(※1) 水槽類にはオイルタンク等を含む。 ◎ 重要機器の定義は次による。 ・ 変電設備 ・ 発電設備 ・ 直流電源設備 ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機 ・ 自動火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ◎ 上層階の定義は次による。 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 公共建築改修工事標準仕様書(建築三事編)8章第2.4及び12節による。			
19.	あと施工アンカー	確認試験 ・ 引張試験 ・ 性能確認試験(本) ・ 施工後確認試験(本)を確認強度 (kN)にて行う ・ 施工士の適用(第1種、第2種) あと施工アンカー・施工士による ※ (社)日本建築あと施工アンカー協会認定資格	

項 目	特 記 事 項
20. 防火区画等の貫通処理	電線等が防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合、その施工状況について貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。
21. 電線・ケーブル	(1) EM-EFFは紫外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「タシシガイセン EM-EFF」と表記されたものを使用する (2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたものを使用する
22. 予備配管	埋込配管からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本、5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上らせる
23. 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
24. 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。 ・ 屋外 ・ 屋内（機械室） ・ A種（山砂の砂：水締め、機器による締固め） ・ B種（根切り土の中の良質土：機器による締固め） ・ C種（他現場の建設発生の土の中の良質土：機器による締固め） ・ D種（再生コンクリート砂：水締め、機器による締固め） ・ 管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める
25. 埋め戻し土	※ 埋外露出処理 構内の指定箇所に敷き均し
26. 建設発生の土の処理	(1) 地中線路上には、次の材料によるケーブル埋設票を設ける。 ・ 鉄製 ・ コンクリート製 (2) 低圧地中配線にあっては地中線埋設標準シートを敷設する。 (3) 配管埋設深度が750mmを超える場合は、地中線埋設標準シートは2本以上敷設する。
28. プルボックス	(1) 露出するプルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン貼付塗装とする。 (2) 露出するプルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。
29. フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き、 ・ 金属製 ・ 樹脂製
30. プラートの用途表示	プルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。
31. 配線器具	タンブラックイッチは運用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として運用形とする。ただし、2口の場合は横式を、また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。
32. 機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。
33. 照度測定	・ 測定場所： ・ 各室(測定箇所 3 箇所) ・ 廊下 ・ 階段 用 途： ○ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 個所、 測定黒板面： 個所) ※ 教室の照度は、1教室当たり机上9㎡より、黒板垂直面9㎡から測定する
34. 壁類	(1) 分電盤等の固面パネルに、単線絡結図・総線抗拉測定表・接地抗拉測定表を収納する。 (2) 端子盤には、経番表・結線表を備え付ける。
35. グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 〈資材〉 ・ 無形制御システム ・ 変圧器 ・ () 〈建具機器〉 ・ 排ガス対策型建設機器 ・ 低騒音型建設機器
36. 他工事又は他工種との取り合い	工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議する。

- ### 3 ハンドホール
- 下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。章取外し用ジャッキを1組納入する。)
- ・ ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう)
 - ・ コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着するものとする。
 - ・ ブロックの仕様は国土交通省仕様に関するものとする。
 - ・ ハンドホールは、ノックアウト部分を設定してはならない。
 - ・ 配管貫通部は、原則として根巻系コンクリート(F-18N/mm以上)とし、差込10分タイプコネクタ
 - ・ 補強法については、あらかじめ監督官にハンドホール製作図を提出して承認を受けて施

・	ハンドホール No. -	1,500×1,500×1,500 蓋 NPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	1,200×1,200×1,500 蓋 NPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	1,000×1,000×1,400 蓋 NPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	1,000×1,000×1,100 蓋 NPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	1,000×1,000×900 蓋 NPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	900×900×1,100 蓋 NPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,260以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	900×900×900 蓋 NPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既製足場付)
・	ハンドホール No. -	600×600×680 蓋 NPM-60A (Eマーク入)	(既製足場付)
・	ハンドホール No. -	450×450×680 蓋 NPM-45B (Eマーク入)	※ 植栽帯等車両の通行の恐れがない場所、 収容ケーブルが少ない場所に限る
・	ハンドホール No. -	× × D 蓋 (Eマーク入)	
・	ハンドホール No. -	× × D 蓋 (Eマーク入)	

4. 機器取付高
図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高(mm)		名 称	測 点	取付高(mm)	
共 通	取 引 用 計 器	地上～上端	2,000	時 計 ・ 圧 力 計	壁 掛 形 親 時 計	床～中心	1,500 (上端1,900以下)	
	引 込 開 閉 器	床～上端	1,800					(天井高)×0.9
	警 報 盤	床～中心	1,500					(天井高)×0.9
電 灯	分 電 盤	床～中心	1,500 (上端1,900以下)		壁掛形スピーカ アンプネーター	床～中心	1,300	
	タンブラスイッチ	〃	1,300	表 示	表 示 盤	床～中心	(天井高)×0.9	
	〃 (身障者用)	〃	1,100			壁 付 発 信 器	〃	1,300
	コンセント(一般)	〃	300			感 測 器	〃	(天井高)×0.9
	〃 (和室)	〃	150			ブ ザ ー	〃	(天井高)×0.9
	〃 (便所等)	〃	500			押 ボ タ ン	〃	1,300
	〃 (台上)	台上～中心	150		〃 (身障者用押鈕)	〃	900	
	ブラケット(一般)	床～中心	2,100		身障者用表示灯	〃	2,000	
	〃 (浴場)	〃	2,500		復 帰 ボ タ ン	〃	1,800	
	〃 (廊上)	鏡壁～中心	150	イ ン タ ー ホ ン	壁付インターホン	床～中心	1,500	
避難口誘導灯	床～下端	1,500以上			〃 (身障者用)	〃	1,100	
廊下通路誘導灯	床～上端	1,000以下			壁付位置ボックス	(壁付インターホンを除く)		
動 力	壁 掛 形 制 動 器	床～中心	1,500 (上端1,900以下)		〃 (一般)	〃	300	
	手 元 開 閉 器	〃	1,300		〃 (和室)	〃	150	
	操作スイッチ・ 押ボタン							
電 話	室 内 端 子 盤 (廊下、室内)	床～下端	300	テ レ ビ 及 び 共 同 受 信	機 器 収 容 箱	床～中心	(天井高)×0.9	
	中 間 端 子 盤 (EPS・電気室)	床～中心	1,500			ア ウ ト レ ッ ト	〃	300
	集 合 保 安 器 箱	〃	(天井高)×0.9			〃 (一般)	〃	150
	壁付ウレレット ボックス(一般)	〃	300	火 災 報 知	受 信 機	床～操作部	800～1,500	
	〃	〃	150			副 受 信 機	〃	800～1,500
					機 器 収 容 箱	床～中心	800～1,500	
					発 信 器	〃	800～1,500	
					消 火 栓 表 示 灯	〃	(天井高)×0.9 (天井高)×0.8	

5. 接地極
下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

・	A種接地	銅板 5t×900×900 補助接地棒 (連続10φ×1,500) リード端子付 堀埋埋戻中心深さ 2m 増設機 (貴金属又はステンレス製)
・	B種接地	銅板 1.5t×600×600 補助接地棒 (連続10φ×1,500) リード端子付 堀埋埋戻中心深さ 2m 増設機 (貴金属又はステンレス製)
・	C種接地	銅板 1.5t×300×300 補助接地棒 (連続10φ×1,500) リード端子付 堀埋埋戻中心深さ 1.5m 増設機 (貴金属又はステンレス製)
・	D種接地	接地棒 (10φ×1,500) リード端子付 打込み式 増設機 (貴金属又はステンレス製)

6. その他

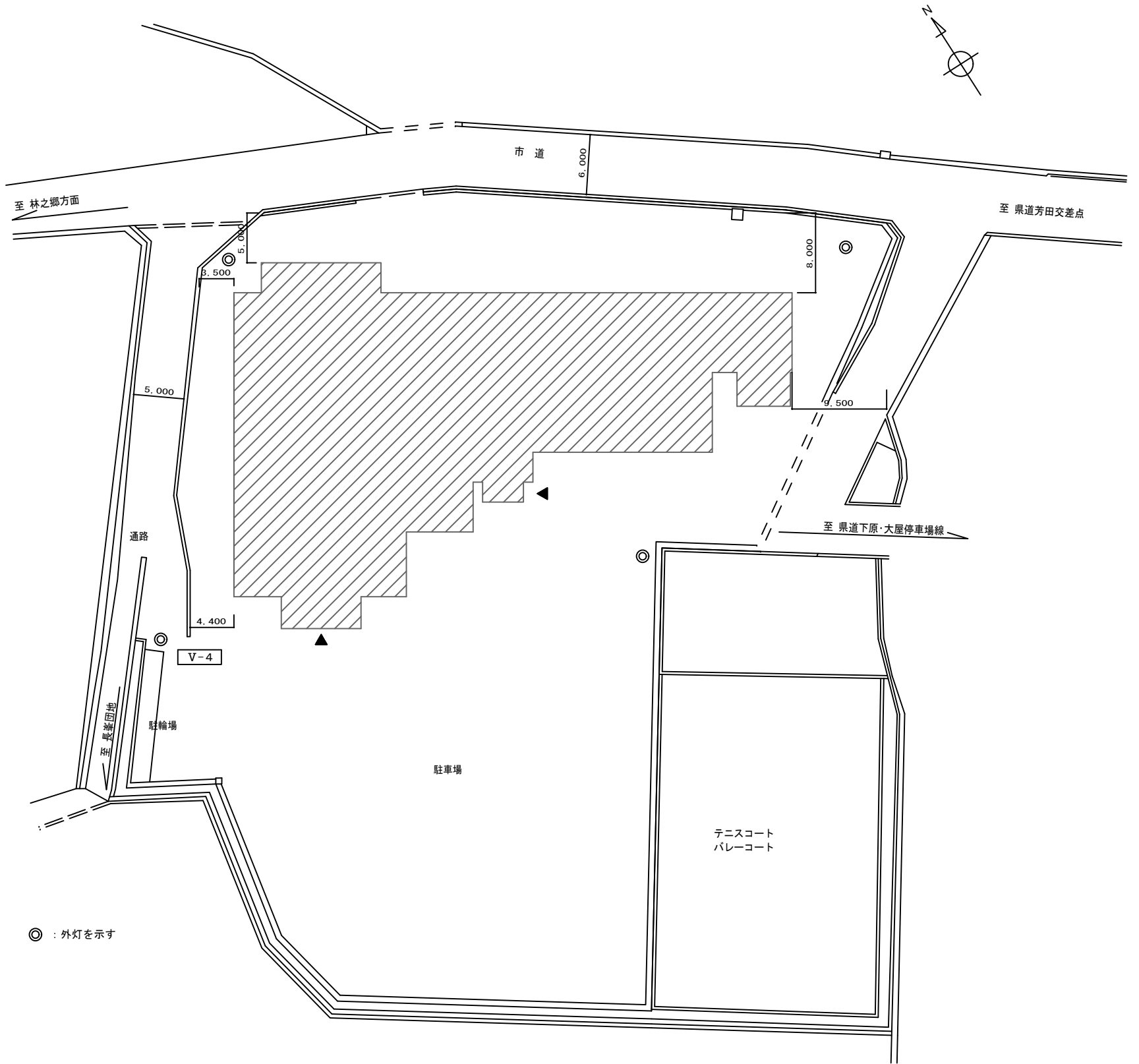
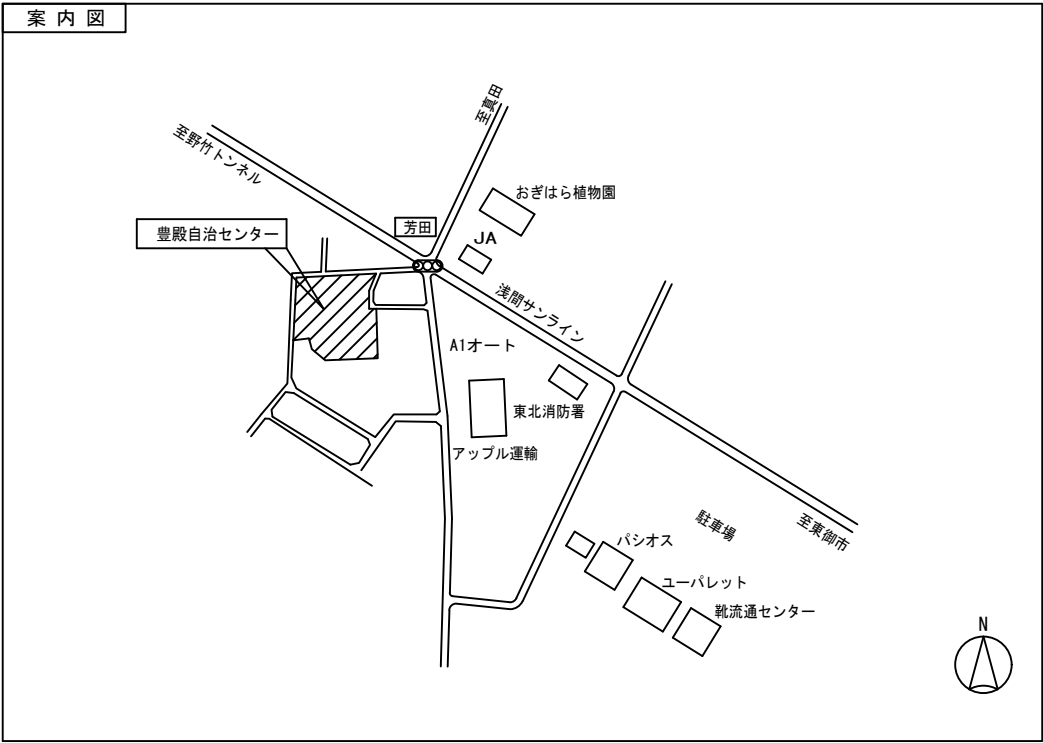
① 工事現場の環境 改善について	工事現場のイメージアップ ・ 仮囲い周辺の美化 ・ 地域住民への情報提供 ・ 完成予想図の設置 ・ 情報掲示板の設置 ・ パンフレットの作成 ・ 地域住民とのコミュニケーション ・ 現場見学会の開催 ・ 住民に対する災害防止関係 ・ 現場出入り口周辺への誘導員の配備
② 不具合の確認	工事しゅん工後10ヶ月、20ヶ月（新築に限る）に不具合の確認を行い、その結果を書面で上田市長 宛てに報告する。 （施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず監督員の立会いを要する。）
③ 産業廃棄物の 取扱い	(1) 廃棄物の処理に当たっては、諸員が自ら処分（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の 行為）とする。＜「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）に 基づき、適正に行うこと。＞ (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づき処理を業として許可を 取得している者に委託すること。また、施工中に産業廃棄物処理委託契約の締り、産業廃棄物 処理業の許可証の写し、許可運搬車両一貫並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画 書」を監督員に提出すること。 (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積込状況の写真、処分状況の写真等 を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出すること。
④ 環境対策関係	(1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。 (2) 夜間、早朝等の移動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ない最短ルートを選定すること。 (3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めるとともに、表土復元等、環境の回復に努めると。 (4) 熱帯気候型は、極力使用しないこと。
⑤ 安全対策関係	(1) 工事現場においては、労働災害、公衆安全防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に 安全教育、研修及び訓練を行うこと (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に1月1回程度実施し、工事日誌へ記録 するほか、実施結果、実施状況の写真、安全教育に使用した資料等も整理すること。 (3) 原則として代理人（主任）以外の第三者により、1月回以上店社による安全パトロールを行い、 工事日誌へ記載するほか、点検内容等を別書面に打記し、実施状況の写真等を撮影すること。 (4) 下請業者にKY（危険予知）、TBM（作業内容の打合せ）活動等を実施すること。その記録を整備 するとともに、随時、実施状況の写真を撮影すること。 (5) 下請業者を含め、作業員に対し現場内部に新しく納入担当者教育、安全教育・訓練等を実施し、 関連書類及び使用した資料等を整理するとともに、随時、実施状況の写真を撮影すること。 (6) 上記の②～⑤の活動については、記録・書類及び写真を整備したものを現場に備え 監督員及び工事検査の指示で提出できるようにすること。
⑥ 工事検査	施工途中において工事検査担当職員または、発注機関の長の指定する職員による旗打ち検査を実施 することとするので、検査に協力すること。
⑦ 被害等 施工業者の取扱い	暴力団関係者から工事現場における被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。
⑧ 完成図面	施工図等の著作権に関する当該建設物に使用する権利は、発注者に移譲する。
⑨ 提出物	完成図面と維持管理に関する書類は、しゅん工後30日以内に提出し、必要に応じて取扱説明を行うこと。 上記によらず、監督員の指示による。



工 事 概 要

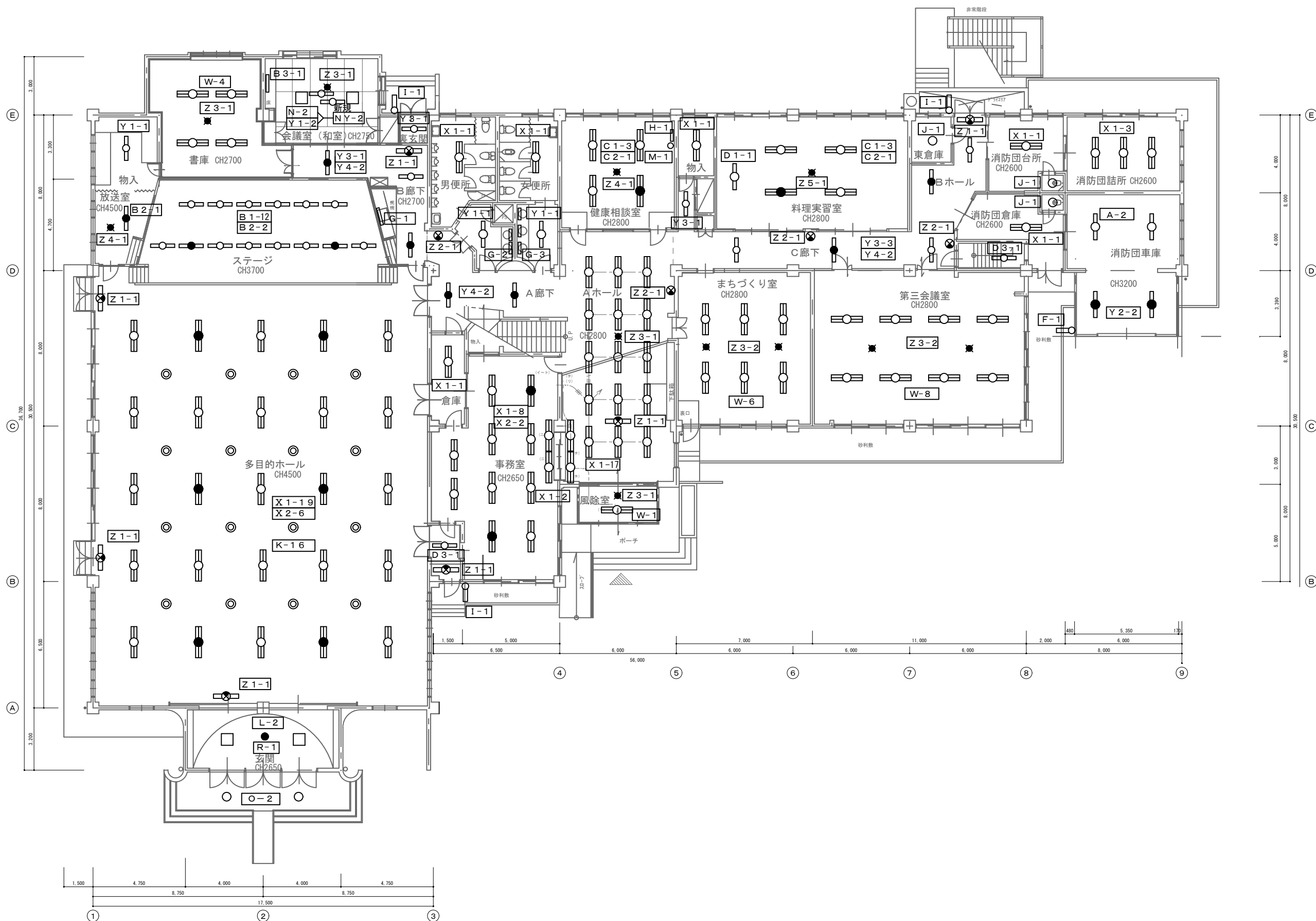
工事名	農村環境改善センターLED改修工事
工事場所	農村環境改善センター（豊殿地域自治センター）上田市芳田1261-2
構造・規模	鉄骨造 地下1階（機械室）地上2階建て 延床面積：1751.04㎡
改修概要	照明器具、非常用照明器具をLED器具に交換
注意事項	・工事着手前に施設管理者及び監督員と施工手順について協議を行い、承諾を得ること。 ・工事予定施設は工事中も運営しているので、工程、仮設計画、工事時間養生等は施設利用者に配慮したものとする。 ・断水、停電に伴う工事については、施設管理者及び監督員と事前に協議を行い、承諾を得ること。 ・休日作業については、事前に施設管理者及び監督員に報告すること。 ・騒音や粉塵を伴う作業については休日に行うこと。また粉塵を伴う作業に際しては養生方法を十分検討すること。 ・各改修工事にあたり、状況により施工困難、不具合が生じた場合は、監督員と協議のうえ適正に施工を行うこと。 ・施工箇所の清掃等は日々の清掃を徹底し、施設利用者に危険が及ばぬように注意すること。 ・その他記入なき事項で必要と思われる事項は監督員と協議し、指示通り行うこと。

案 内 図



配置図 S=1/250





上田市都市建設部建築課

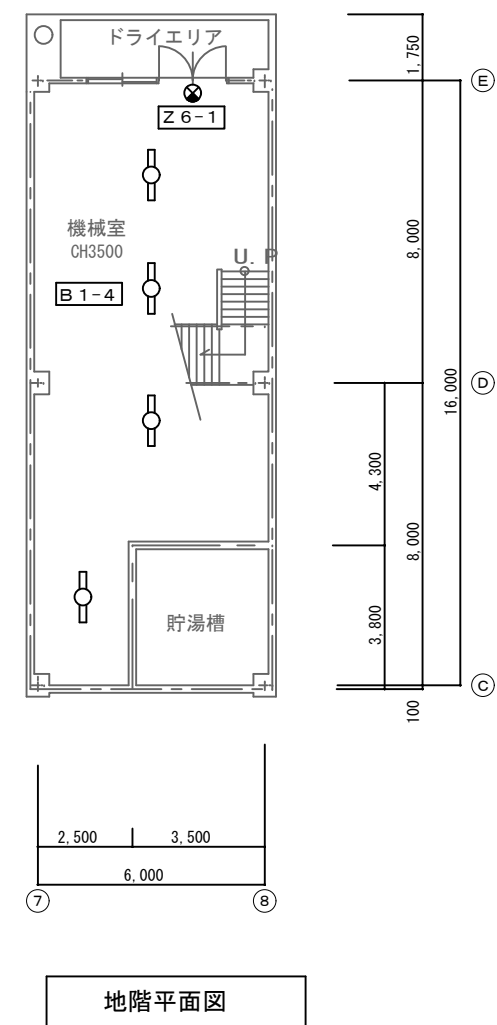
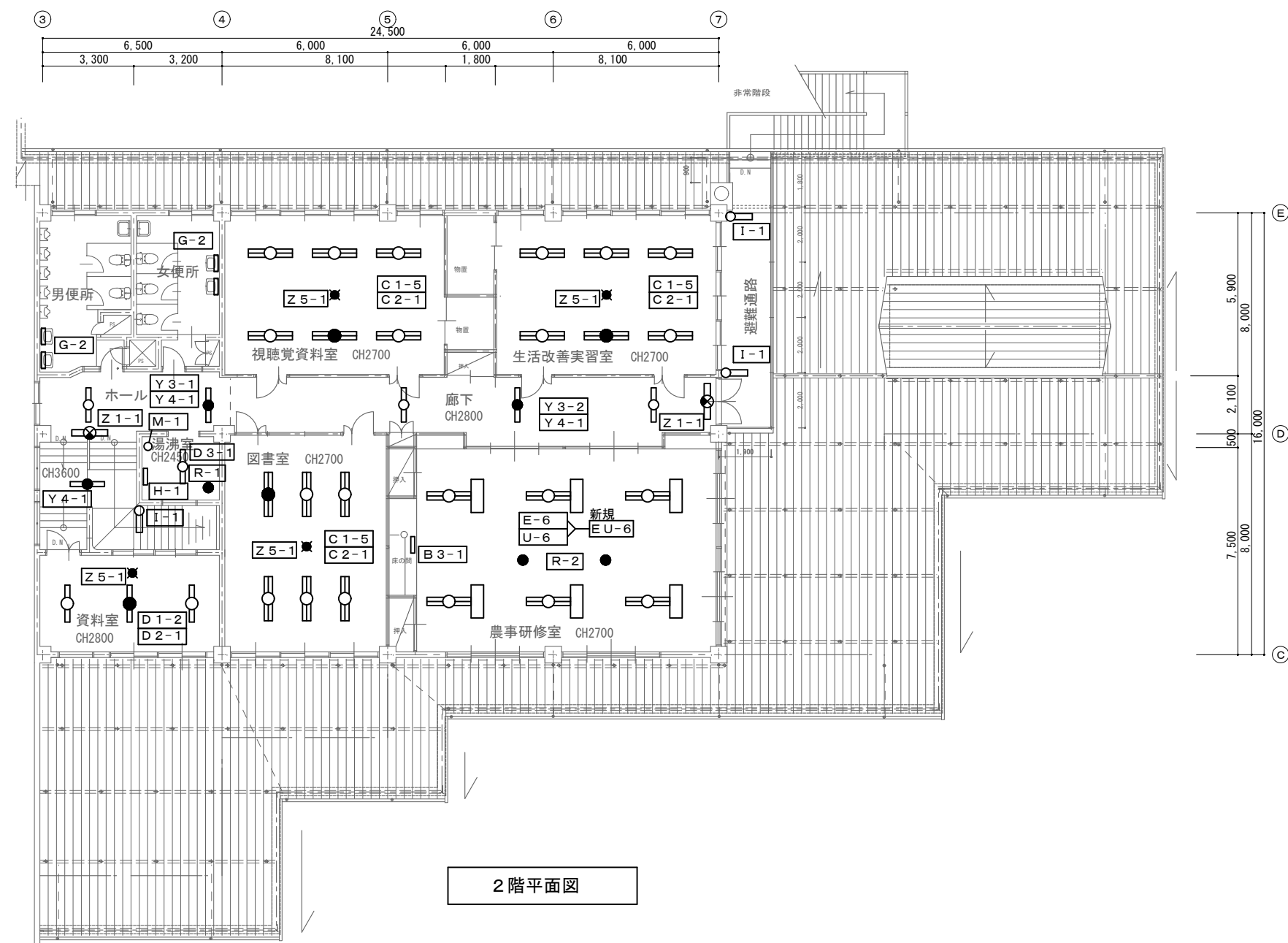
事業年度
R-07

事業名
図名

農村環境改善センターLED化改修工事
1階 電灯設備平面図

SCALE
A1 : S=1/100
A3 : S=1/200

NO.
E-03



上田市都市建設部建築課

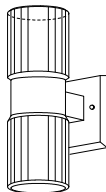
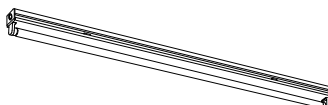
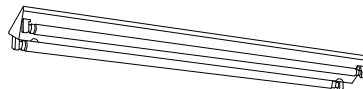
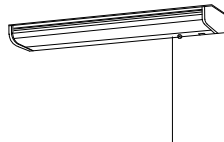
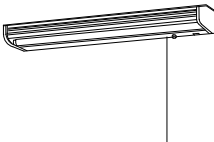
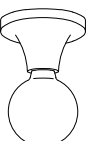
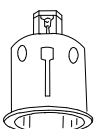
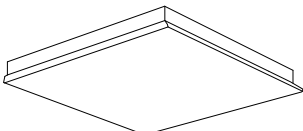
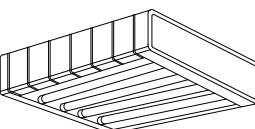
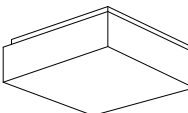
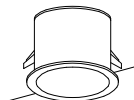
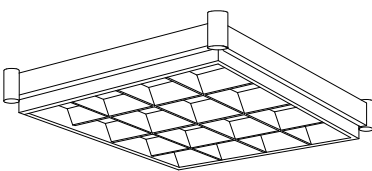
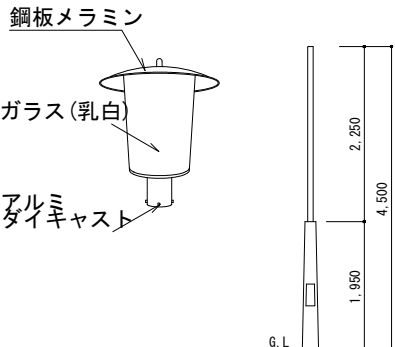
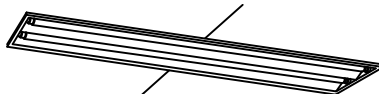
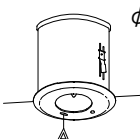
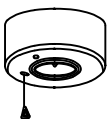
事業年度
R-07

事業名
図名

農村環境改善センターLED化改修工事
2階 地階 平面図

SCALE
A1 : S=1/100
A3 : S=1/200

NO.
E-04

A	FL-40w 笠付トラフ型	2.0	B1	FL-40w トラフ型	2.0	C1	FL-40w×2 富士型	2.5	D1	FL-40w 富士型	2.0	E	FL-40w×2 シーリングベースライト	F	IL-40w ブラケット		
			B2	FL-40w 非常用電池内蔵型	2.3	C2	FL-40w×2 非常用電源内蔵型	2.5	D2	FL-40w 非常用電源内蔵型	2.0	※イメージなし					
			B3	FL-20w トラフ型	2.0				D3	FL-20w 富士型	2.0						
			 鋼板メラミン(白)			 鋼板メラミン(白)											
G	FL-15w ミラーライト	2.2	H	FL-10w 流し元灯	2.2	I	FL-20w ウォールライト		J	IL-60w レセップ灯		K	IL-60w ダウンライト	L	FL-20w×2 埋込型		
 プラスチック(フリズム)			 プラスチック(乳白)			 アクリル(乳白)			 鋼板(クロームメッキ)			φ150  鋼板メラミン プラスチック(パツフル)			 600×300 鋼板メラミン プラスチック(乳白)		
N	FL-20w×3 和風シーリングライト		O	FL-20w 角型シーリングライト		R	非常用白熱灯40wダウンライト		U	FL-20w×3 和風シーリングライト		V	水銀灯300w 安定器共	W	FL-32w×2 埋込型		
 側面：透明スチロール			 プラスチック(乳白)			 白色枠			 ※木製カバーなし			自動点滅器付  鋼板メラミン ガラス(乳白) アルミダイキャスト 2,250 4,500 1,950 G.L			 鋼板メラミン(白)		
X1	FL-40w×2 富士型	2.5	Y1	FL-32w 富士型	2.0	Z1	避難口誘導灯 B級・BH形		Z3	ハロゲン電球30w ダウンライト非常灯		Z6	大型避難口誘導灯	M	レンジフード 電球 E26		
X2	FL-40w×2 非常時40w1灯点灯	2.5	Y2	FL-32w 非常用電池内蔵型	2.0	Z2	通路誘導灯 C級		 φ150 電池内蔵型 0.9								
 鋼板メラミン(白)			Y3	FL-20w 富士型	2.0	 電池内蔵型			Z4	ハロゲン電球9w 直付型非常灯							
			Y4	FL-20w 非常用電池内蔵型	2.0				Z5	ハロゲン電球13w 直付型非常灯		 1.1 電池内蔵型					

上田市都市建設部建築課

事業年度
R-07

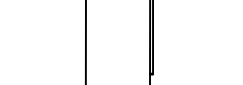
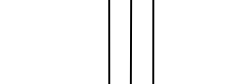
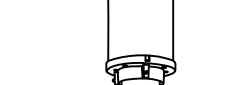
事業名
図名

農村環境改善センターLED化改修工事
既存 照明器具図

SCALE
A1：－
A3：－

NO.
E-05



A直付型４０形 反射笠付型 単体		B 1直付型４０形 反射笠付型		B 2非常灯 ４０形 W 8 0		B 3直付型２０形		C 1直付型４０形 W 2 3 0		C 2非常灯 ４０形 W 2 3 0 電源別置形	
											
一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.7W、定格出力型、電圧100～242V 通信周波数 920MHz帯、約10～100%連続調光型 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵		リニューアル用、一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		非常灯タイプ、2500lm（Hf32形定格出力×1灯器具相当） 常時：ライトバー点灯、非常時：本体組込LED（一般出力型）点灯 電圧：100～242V対応、蓄電池：ニッケル水素電池 リニューアル専用、非常灯評定番号：LAL E-027 非常用LEDレンズ：ガラス、常用ライトバー：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%）、点検スイッチ付 自己点検スイッチ付、充電モニタ（緑）付		一般タイプ、800lmタイプ 消費電力5.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		リニューアル用、一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		非常灯タイプ、5200lm（Hf32形定格出力×2灯器具相当） 常時：ライトバー点灯、非常時：本体組込LED（一般出力型）点灯 電圧：100～242V対応・非常時AC/DC100V リニューアル専用、非常灯評定番号：LCE-014 非常用LEDレンズ：ガラス、常用ライトバー：ポリカーボネート（乳白） ライトバー：光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 予備電源別置型・LED低～中天井用（～6m）	
参考 直付XLX429KENRZ9		参考 XFX429KENLE9		参考 XDL423NGNLE9		参考 直付XFX200NENLE9		参考 直付XFX459DENLE9		参考 直付XDL459DGNLE9	
D 1直付型４０形 W 2 3 0		D 2非常灯 ４０形 W 2 3 0		D 3直付型２０形 W 2 3 0		E Uシーリングライト		Fブラケット ４０形電球１灯器具相当		GLED １５形直管蛍光灯１灯器具相当	
											
リニューアル用、一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		非常灯タイプ、2500lm（Hf32形定格出力×1灯器具相当） 常時：ライトバー点灯、非常時：本体組込LED（一般出力型）点灯 電圧：100～242V対応、蓄電池：ニッケル水素電池 リニューアル専用、非常灯評定番号：LAL E-027 非常用LEDレンズ：ガラス、常用ライトバー：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%）、点検スイッチ付 自己点検スイッチ付、充電モニタ（緑）付		一般タイプ、800lmタイプ 消費電力5.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束5050lm、消費電力37W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、プッシュプル方式、カチットF 光源寿命40000時間（光束維持率70%） カバー：アクリル（乳白つや消し・模様入り） リモコンで（100%～5%）調光、専用リモコン送信器同梱		電球色（2700K）、Ra80、光源寿命40000時間（光束維持率70%） 器具光束3471m、消費電力4.3W、電圧100V ツマミネジ方式、壁直付型 カバー：ガラス（乳白つや消し）、（ホワイト） W=100 H=180 出しろ128		昼白色（5000K）、Ra83 器具光束8401m、消費電力9.5W、電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型 カバー：プラスチック（乳白） 両面化粧タイプ W=450 H=65 出しろ64	
参考 直付XFX429DENLE9		参考 直付XDL423DGNLE9		参考 直付XFX200DENLE9		参考 LGC55830		参考 LGB87024F		参考 LGB85042LE1	
HLED １５形直管蛍光灯１灯器具相当		ILEDウォールライト ２０形		JLED電球8.8W×1 シーリングライト		Kダウンライト ６０形		Lシーリングライト		NYシーリングライト	
											
昼白色（5000K）、Ra83 器具光束8401m、消費電力9.5W、電圧100V 拡散タイプ、コンセント付、プルスイッチ付 カバー：プラスチック（乳白） W=450 H=65 出しろ64		LED内蔵、電源ユニット内蔵 防湿型・防雨型 5000K、Ra83、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束9901m、消費電力10W、電圧100～242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁直付型、保護等級：IP23		ランプ 60形 本体：銅板（ホワイト仕上） 天井直付型・壁直付型		LED内蔵、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 器具光束1151m、消費電力4.2W、電圧：100～242V 光源遮光角15度、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束：6151m、消費電力4.2W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150		LED内蔵、電源ユニット内蔵 昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束35001m、消費電力27.6W、電圧100V プッシュプル方式、カチットF、平線天井取付アダプタ対応 光源寿命40000時間（光束維持率70%） カバー：アクリル（乳白つや消し） リモコンで（100%～5%）調光、専用リモコン送信器同梱		昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束44301m、消費電力32.9W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、プッシュプル方式、カチットF 光源寿命40000時間（光束維持率70%） カバー：アクリル（乳白つや消し・模様入り） リモコンで（100%～5%）調光、専用リモコン送信器同梱	
参考 LGB85041LE1		参考 NNFW21800KLE9		参考 NNN51800		参考 XND0669WNLE9		参考 LGC25120		参考 LGC45830	
OLEDシーリングライト 20形丸形蛍光灯		RLED非常灯専用型		V外灯 水銀灯４００形１灯器具相当		W埋込型４０形 下面開放型 W300		X 1直付型４０形 W 2 3 0		X 2非常灯 ４０形 W 2 3 0	
											
昼白色（5000K）、Ra83 器具光束7051m、消費電力7.8W、電圧100V 防湿型・防雨型、拡散タイプ、ネジ込み方式 プラスチック（ホワイト） カバー：アクリル（乳白）		φ100中天井用（～6m）、30分間タイプ LED内蔵、非常時：非常灯用LED点灯／常時消灯 非常灯評定番号：LAL E-006 レンズ：ガラス、カバー：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付		LED内蔵、電源ユニット別置、リニューアル用 光束118001m、消費電力88.4W、電圧100～242V 昼白色、5000K、光束維持時間6万時間（光束維持率85%） 本体：アルミダイカスト（オフブラック）、グローブ：アクリル 防まつ型（灯具のみ） 上方光束比50%、耐風速60m/s 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV ＜オプション＞：笠 ステンレス銅板、落下防止ワイヤー		リニューアル用、一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板、反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		リニューアル用、一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		非常灯タイプ、5200lm（Hf32形定格出力×2灯器具相当） 常時：ライトバー点灯、非常時：本体組込LED（一般出力型）点灯 電圧：100～242V対応、蓄電池：ニッケル水素電池 リニューアル専用、非常灯評定番号：LAL E-027 非常用LEDレンズ：ガラス、常用ライトバー：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%）、点検スイッチ付 自己点検スイッチ付、充電モニタ（緑）付	
参考 LGW51714WCF1		参考 NNF B93605C		参考 モールライトXYG2204NLE9 NYK20016-K		参考 埋込XFX459VENLE9		参考 直付XFX459DENLE9		参考 直付XDL453DGNLE9	



上田市都市建設部建築課

事業年度

R-07

事業名

図名

農村環境改善センターLED化改修工事

新規 照明器具図 1

SCALE

A1：－
A3：－

NO.

E-06

